

〔科目名〕 卒業研究				〔単位数〕 4単位		〔科目区分〕 卒業研究科目	
〔担当者〕 青山 直人 Aoyama, Naoto						〔授業の方法〕 演習	
〔演習テーマ〕 応用ミクロ経済学分野に関する研究。これまで学んだことをもとに各自のテーマについて研究します。							
〔演習内容〕 本研究の目的は卒業論文の作成です。これまで学んだことをもとに、各自研究テーマを設定してもらいます。テーマのもとで、問いの設定、先行研究の調査、分析方法の決定、分析、分析結果の考察を行い、論文としてまとめます。							
〔科目の到達目標〕 卒業論文の完成							
〔ディプロマ・ポリシー (DP) との関係〕							
学部				学科			
DP1 ○	DP2 ○	DP3	DP4 ○	DP1	DP2 ○	DP3 ○	
〔前提条件〕 「ミクロ経済学」「公共経済学」「環境経済学」を履修済みであること。							
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 卒業論文の作成過程(進捗報告)と卒業論文をもとに総合的に評価します。							
〔教科書等〕 戸田山和久『最新版 論文の教室 レポートから卒論まで』NHK ブックス、2022 年。 石黒圭著『論文・レポートの基本—この1冊できちんと書ける！ (新版)』日本実業出版社、2024 年。 その他、配布資料。							
〔実務経歴〕 該当なし							
授業スケジュール							
時期	テーマと内容						
4 月 ～ 5 月	テーマ 問いの設定 受講者の興味・関心に応じて研究テーマを設定し、事前調査をしてもらいます。研究テーマについて、現状と課題を報告してもらいます。そのうえで、テーマの絞り込みを行います。						
6 月 ～ 7 月	テーマ 先行研究の調査 卒業論文のアウトラインを作成します。問いに関連した先行研究を調査します。						
8 月 ～ 10 月	テーマ 分析方法の決定と調査 分析方法を決定します。問いに答えるための分析、もしくは調査を行います。						
11 月 ～ 12 月	テーマ 卒業論文の作成 事前調査、先行研究、分析結果(調査結果)をもとに論文を作成します。						

1月	テーマ 卒業論文の修正 論文へのコメントを基に、追加調査を行い、卒業論文を完成させます。
----	---